

議会報告会 アンケート結果（抜粋）

☆議会報告会、町議会について ご意見がありましたらご記入下さい。

- 議会報告会は、非常に大変良いことである。
- 報告会ありがとうございます。
- 事業内容について、議会から新提案はないのか。
- 「たより」になる議員になってほしい。
- 日頃から本町の発展にご尽力いただきありがとうございます。
- 議会報告会なので、議会としてどのような活動をし、どのような成果が得られたのかなどの、議会活動を基本とした報告会であってほしいと思いました。（町が行う説明会のようでした。）
- 資料を見ると頭が混乱した。
- 議員の皆様、もう少し自ら勉強してほしい。高鍋町の活性化をどうするのか？
- 常任委員会の報告が口頭だけでわかりにくい。文章による報告にしてもらいたい。
- 数字ばかりを言われてもわかりづらい。
- 議員一人一人が何の目的をもって議員をしているのか、高鍋町のために何ができるのかをお示し下さると、もっと活発な報告会になると思います。
- 質問をまとめて。短時間に進めるように。希望者は事前に質問事項を提出してもいいのでは。可能であれば報告会で返答してもいいのでは。
- 2回目の開催と聞きましたが、もっと周知した方が良かったと思いました。
- 議員も大変だと思いますが、町民第一に考えて執行部との話を進めてほしい。
- 税金が他の町よりも高いと思う。なぜ？理由が知りたい。
- 説明に係るレジメを作っていただいた方が理解しやすいかも。
- 報告会で出た意見がどう対処されるのか報告がほしい。
- 議会報告会ではなく、町政報告会との区別を明確化してほしい。
- 町の将来を考えた場合、若い年代の参加者があってほしい。また、各公民館から1～2名の参加者があればよりよい報告会ができるのではないかと。
- 高齢者が目立つが若い人たちを参加させてほしい。

（アンケートをどうもありがとうございました。）

議会報告会 2回目開催

“議員の皆様、もう少し自ら勉強してほしい。 高鍋町の活性化をどうするのか？”



第2回 議会報告会を行いました。

全議員が出席して、2回目の議会報告会を10月25日（金）に「たかしんホール」1階会議室で開催しました。

参加された約34名の町民の方に、最初に緒方副議長より会次第進行の説明があり、次に、総務産業建設常任委員会から松岡信博委員長、日高正則副委員長、杉尾浩一委員による報告等と文教厚生常任委員会から中村末子委員長、古川誠副委員長等による本年度当初予算に基づいた主な事業の紹介がありました。

意見交換会では「高鍋町では固定資産税が高い」「防災無線が聞こえにくい」「耐震補強について、部分補強であっても補助の対象になるようにお願いしたい」など指摘され、議員側は「戸別受信機を無償で貸与しているので利用して頂きたい」と応対。また昨年の台風24号で7時間停電したが「原因がわかれば気持ちや和らぐ。九州電力とホットラインを確立してほしい」と要望があり、議員側は「執行部と詰めていきたい」と応対。この他にも「農業関係の補助事業について対応・対策について」「議会傍聴の回覧・お知らせが遅い」といった意見などたくさんのご意見を賜りました。

青木善明議長の挨拶

昨年に引き続き、本年もこのように報告会で町民の皆様と意見交換ができますことを議員一同、大変感謝申し上げます。
高鍋町民の皆様が将来も安心して暮らせるまちづくりのためには、今後どのようなことを計画実行、検証することが必要なのかを限られた時間ではありますが、少しでも皆様方と一緒に共有できましたら幸いです。

本日は、誠にありがとうございました。
（要旨・抜粋）